

## 1. 空港コンセッションと公共政策 2. 福岡空港の取組み

**日時：6月15日(火) 16:50-18:35 (5限)**

国際学術総合研究棟4階SMBCホール(20名まで)における対面授業とオンラインでの受講の併用(永竿社長はオンラインのみ)

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、以下のお二人からお話を伺います。

### 1. 鶴田浩久 国土交通省航空局航空ネットワーク部長

航空ネットワークは、国内外の交流を支える「空のインフラ」— 空港は、航空会社や管制機関等とともに、その不可欠な担い手です。近年、空港においては、民間が能力を活かして運営するコンセッション方式が広まってきた一方、コロナ禍やカーボンニュートラルといった公共政策上の新たな課題が顕在化しています。

本講義では、空港コンセッションについて、沿革・制度・現状を概観するとともに、変化する公共政策との調和のあり方を考察します。

### 2. 永竿哲哉 福岡国際空港株式会社 代表取締役社長執行役員

発着回数、利用者数ともに羽田、成田、関西に次いで国内4位の規模である福岡空港の概要を説明するとともに、空港運営開始(2019年4月)以降に取り組んできた利用者の利便向上を目的とした施策や旺盛な航空需要を踏まえた今後の取組みについて紹介し、コンセッションによる空港運営について考察を深めます。

※ 対面授業を希望する学生は、下記アドレスまで、授業前日17時までに連絡すること。先着順に受け付けし、教室の定員を超えた場合にのみ個別に連絡する。

※ オンライン授業URLはITC-LMSで確認すること。また、資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に掲示する。

—問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット [ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp](mailto:ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp)—



国土交通省航空局  
航空ネットワーク部長  
**鶴田 浩久 氏**



福岡国際空港株式会社  
取締役社長執行役員  
**永竿 哲哉 氏**